

第12回 作業療法ジャーナル研究助成

笹井祥充氏の「心大血管領域における作業療法士の実践と問題点の調査」に決定



受賞者 笹井祥充氏

過日、第12回 作業療法ジャーナル研究助成対象選考会が開かれ、笹井祥充氏の研究が選ばれた。笹井氏の研究テーマは「心大血管領域における作業療法士の実践と問題点の調査」である。助成期間は3年間であり、助成金額は30万円である。研究経過については、次年度の本誌に掲載する。

第12回研究助成を受けての所感

笹井 祥充

(自治医科大学附属さいたま医療センター、
作業療法士)

このたび、第12回作業療法ジャーナル研究助成対象として選出していただき、心よりお礼申し上げます。特に『作業療法ジャーナル』編集委員、ならびに選考に携わっていただきましたすべての関係者の皆様に対しましては感謝申し上げます。

研究テーマは「心大血管領域における作業療法士の実践と問題点の調査」です。全国の心大血管疾患リハビリテーション料I算定施設の作業療法士を対象にアンケート調査を行う予定です。対象となる施設の先生方にはアンケートにお答えいただけますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

心臓リハビリテーションにおける作業療法の役割は大きいと考えますが、実践報告が少

ないのが現状です。心不全だけをみても患者数は急速に増加しており、患者数は約130万人であると報告されています。高齢化に伴い、認知機能や生活機能に着目した再入院予防や生活の質向上を意図した介入は非常に重要であるといえます。そのため、作業療法が必要な患者は多いと思いますが、実践内容としては不明確なことが多いです。今回の調査を行うことで、現状での実践内容や問題点を抽出し、今後、心臓リハビリテーションにかかわる作業療法士の指針になればとも考えています。

この研究が今後の臨床・研究・教育の一助になるように努力していきます。皆様ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。